

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	「きいぱす」エネルギー環境教育推進事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	美浜町エネルギー環境教育体験館「きいぱす」において、再生可能エネルギーの普及・啓発につながる見学会、各種教材を活用した講座、体験等を開催した。	
総事業費	11,982,117円	
補助金充当額	11,938,942円	
定量的目標	入館者数48,000人	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	2050年カーボンニュートラルに向け、その背景や達成方法、課題など、エネルギー環境教育の分野において取り組むべき喫緊のテーマに沿った体験プログラムやイベント・講座を実施することにより、エネルギー構造高度化に関する理解促進が図られた。 なお、令和5年度の入館者数は、約11,200人で新型コロナの影響から回復しつつあるが、目標には到達出来なかった。	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)	契約（間接補助）の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. きいぱす見学会実施業務 2. ロボットプログラミング体験会開催業務（きいぱすGWフェスタ2023） 3. ステージショー開催業務（きいぱすGWフェスタ2023） 4. クリスマス・サイエンスキャンプ運営補助業務 5. ロボットプログラミング体験会開催業務
	契約の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 随意契約 2. 随意契約 3. 随意契約 4. 随意契約 5. 随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	<ol style="list-style-type: none"> 1. (株)旅工房 2. (株)アフレル 3. (株)マインドアンドサウンドライフ 4. (株)旅工房 5. (株)アフレル
	契約金額（間接補助金額）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 5,759,946円 2. 489,500円 3. 495,000円 4. 514,338円 5. 489,500円
	来年度以降の事業見通し	来館者に生活を支えるエネルギー供給の現状や再生可能エネルギー普及の必要性等について理解を深めてもらい、エネルギー構造転換に対する理解促進を図るために、来年度以降も事業を実施する。

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	再生可能エネルギーで航行する電池推進遊覧船への太陽光システム導入事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	電池推進遊覧船（2 隻目）に、美浜町レイクセンターと電池推進遊覧船（1 隻目）に構築した再生可能エネルギーを活用した太陽光システム ※1 を導入・同期し、施設全体で再エネの利活用について調査・研究を行った。 ※1 美浜町レイクセンターの屋根に設置した太陽光パネルで発電した電力を、同施設内に設置した蓄電池及び急速充電器を通じて船に給電するとともに、その電気の流れを情報表示モニターで確認・発信するシステム	
総事業費	19,360,000円	
補助金充当額	19,360,000円	
定量的目標	電池推進船 乗船者数 56,000人	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	電池推進船 乗船者数：48,678人（R5 年度指定管理者見込） 電池推進船 乗船者数：9,615人（実績）	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	電池推進遊覧船（2 隻目）への太陽光システムの導入・同期
	契約の方法	随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	(株)新交通システム研究所
	契約金額（間接補助金額）	19,360,000円
来年度以降の事業見通し		

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

(様式 5 : 全対象事業共通)

令和 5 年度第 2 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	美浜町ゼロカーボン・スマートタウン基本構想・基本設計業務	
補助事業者名	福井県美浜町、福井県	
補助事業の概要	<p>「スマートで自然と共生する持続可能な地域」という将来像の実現に向けて、美浜町においてゼロカーボン・スマートタウンの適地調査を行い、基本設計（概算設計）を作成した。</p> <p>また、再生可能エネルギー等を活用したサービスの提供についての検討を行った。</p>	
総事業費	6,699,000円	
補助金充当額	6,699,000円	
定量的目標	<p>昨年度の調査結果をもとに、美浜町ゼロカーボン・スマートタウン形成に向けた基本構想がまとめられ、選定地点における配置計画や事業費積算等の具体的な事業設計を行うことができた。</p> <p>令和 8 年度には、スマートタウンの運用を図ることにより、住民だけではなく、地域外に向けても再生可能エネルギーについて理解促進を図る。</p>	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>昨年度の調査結果から、町内における適地を選定し概算設計を行った。また、スマートタウンのみならず、他地域への水平展開が可能な新しいサービスに関して検討を行い、子どもの見守り機能等を有したスマートポールを設置することとした。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	美浜町ゼロカーボン・スマートタウンの形成に向けた基本構想・基本設計
	契約の方法	一般競争入札
	契約の相手方（間接補助先）	株式会社エイコー技術コンサルタント
	契約金額（間接補助金額）	6,699,000円
来年度以降の事業見通し	<p>令和 6 年度：実施設計</p> <p>令和 7～8 年度：用地取得、造成工事</p> <p>令和 8 年度：分譲開始予定</p>	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。

令和5年度第1回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	「きいばす」カーボンニュートラル教育強化に向けた展示充実事業	
補助事業者名	福井県美浜町	
補助事業の概要	<p>2050年カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー需給高度化の体験・展示ツールとして、ライフスタイルにおけるエネルギー消費構造の高度化の重要性・必要性を体験・理解できる消費者視点のカーボンニュートラル展示設備として「断熱体験展示ルーム」を整備した。</p> <p>この展示ルームでは、断熱構造のみ異なる2つの部屋（高断熱ルーム、低断熱ルーム）を整備し、各部屋の中に設置した空調を使って、室内の温湿度や消費電力・消費電力量の推移を比較できるように、測定データを表示するデータ表示盤を整備した。</p> <p>また、通常は目にすることができない部屋の壁や床に使用されている断熱材の構造断面を見せるほか、実物の断熱材そのものも展示し、断熱技術の可視化と理解を深める取り組みを行っている。</p>	
総事業費	33,932,800円	
補助金充当額	33,932,800円	
定量的目標	入館者数48,000人／年度	
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	<p>来館者に対して、先進的で効率的な設備を導入した高断熱ルームと、一般的な低断熱ルームについて、温湿度等の比較を体験してもらうことにより、住宅のゼロエネルギー化に対する意識の向上が図られた。</p> <p>また、きいばす主催のイベントで、令和6年12月に実施した「2024きいばすクリスマス・サイエンスキャンプ」の建築部門において、断熱体験展示ルームを活用した探究学習を実施し、参加者のエネルギーに対する理解の促進やエネルギーへの関心の向上が図られた。</p> <p>なお、令和6年4月から12月末の入館者数は、約7,617人であり、引き続き本設備を活用しながら目標達成を目指す。</p>	
補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 （※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載）	契約（間接補助）の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度きいばす断熱体験展示物製作工事実施設計業務 2. 令和5年度きいばす断熱体験展示物製作工事 3. 令和5年度きいばす断熱体験展示物製作工事発注者支援業務
	契約の方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 指名競争入札 2. 指名競争入札 3. 随意契約
	契約の相手方（間接補助先）	<ol style="list-style-type: none"> 1. (株)トータルメディア開発研究所 2. (有)大同工務店 3. (有)山口設計事務所
	契約金額（間接補助金額）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2,519,000円 2. 30,500,800円 3. 913,000円
来年度以降の事業見通し	きいばす館内展示の一つとして、断熱体験展示ルームを活用する。	

(備考)

- 1 事業完了した日から3ヶ月以内の提出をお願いします。
- 2 定量的成果目標の欄には補助金応募申請書提出時に設定した成果目標をそれぞれ記載すること。
- 3 補助事業の成果及び評価の欄には、公募要領8. で記載した内容に対応した、定量的な成果実績と評価を記載すること。それ以外にも、定性的な成果実績や、進捗度、利用量並びに効果等といった別の定量的な指標があればできる限り数値を用いて記載すること。
- 4 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。間接補助を行った場合は、記載不要。
- 5 来年度以降の事業見通しの欄は、本事業に来年度以降も補助金を充当しようとする場合のみ記載。